

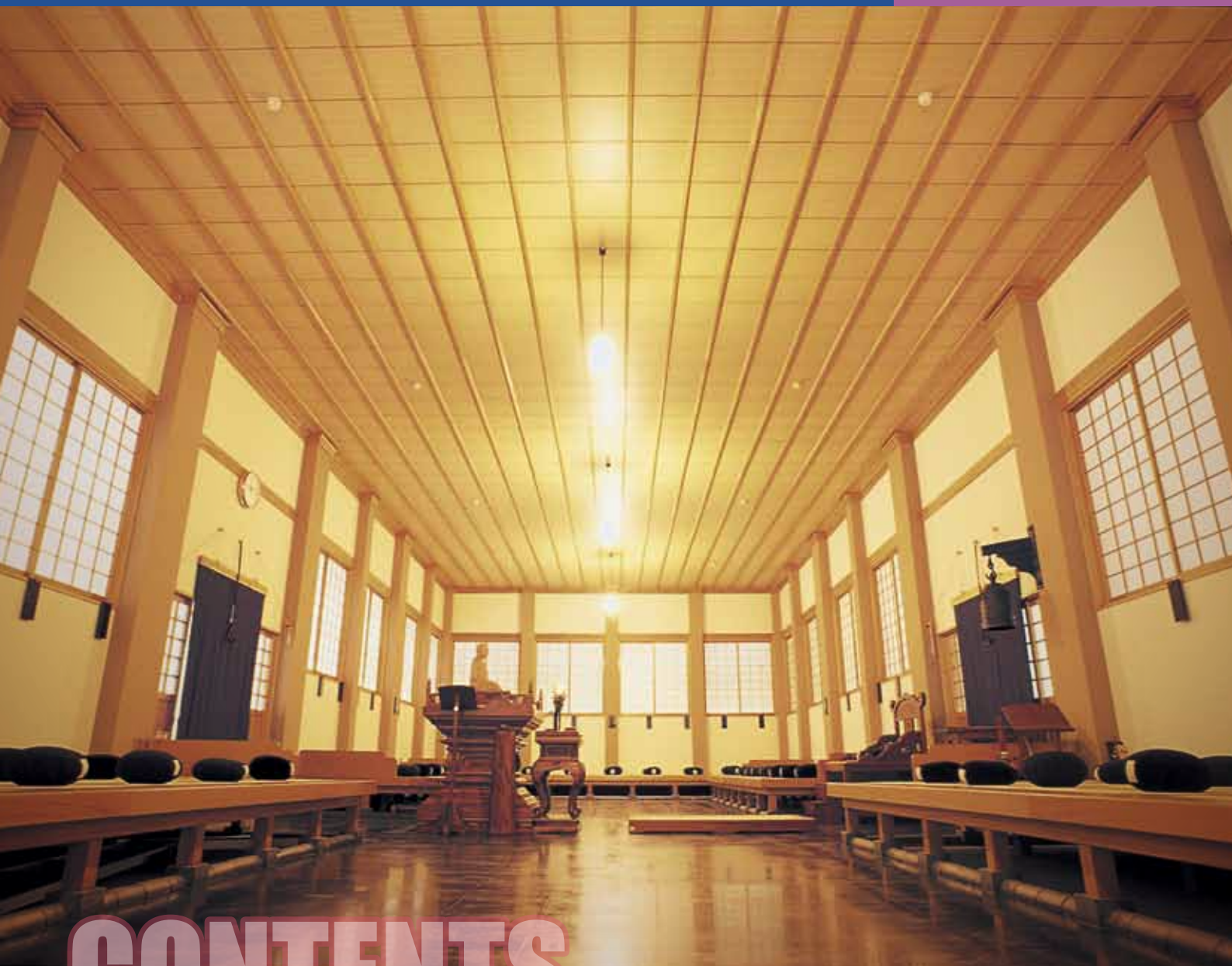
愛知学院大学

Aichi-gakuin University

法学部

同窓会会報

Vol.72 2014.1.1



愛知学院大学 日進キャンパス 坐禅堂「内単（ないたん）」

CONTENTS

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 2・・・新会長挨拶・役員組織図 | 10・・・OB講座「キャリアデザインと法学」 |
| 3・・・法学部同窓会活動インフォメーション | 法律・税務相談・事務局からのお知らせ |
| 同窓会ホームページのご案内 | 11・・・地方同窓会 |
| 4・・・定期総会・講演会・懇親会 | 12・・・OB・OG会合開催報告 |
| 6・・・法学部長講演会 | 人事（法学部関係） |
| 7・・・くらしの法律相談 | 13・・・「先生お元気ですか？」湯浅道男名誉教授 |
| 8・・・奨学生からのメッセージ | 14・・・クラブ活動成績 |
| 9・・・新司法試験合格者の喜びのメッセージ | クラブ・サークル紹介 |
| | 16・・・リレー「私のふるさと」・キャンパス紹介 |



新会長挨拶 伊藤桂子(S45年卒)



平成25年6月に加藤前会長からバトンを受け新たな体制で同窓会の運営にあたり、半年が過ぎました。

昭和36年に法学部の第1回生が卒業してから平成25年には52年目となり、正会員も3万人近くになり名実とともに円熟期にはいりました。

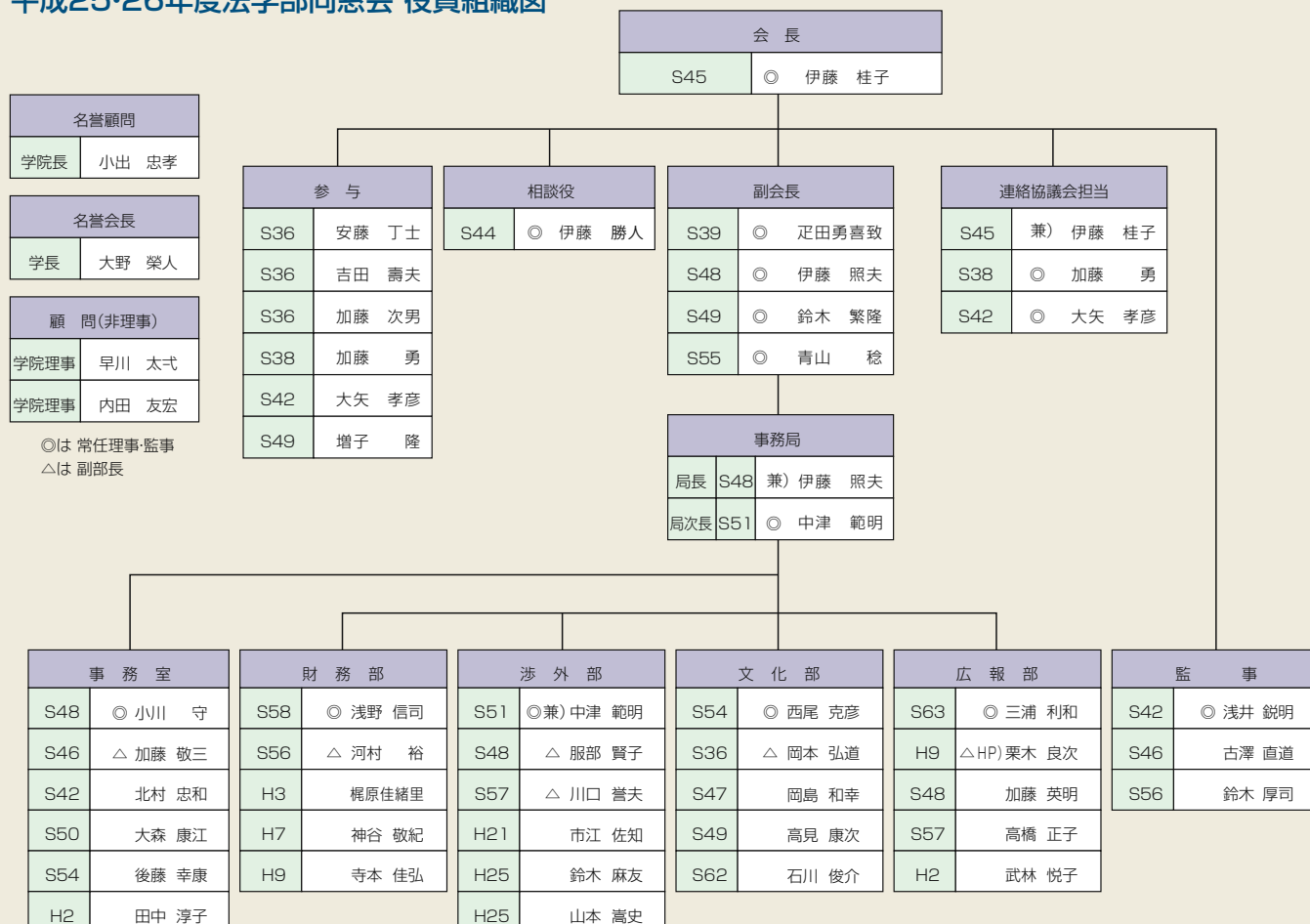
一方同窓会をとりまく世の中は情報化・国際化・高齢化・少子化が進み、同窓会の運営は大変厳しい時期を迎えています。そんな中、私たちは新しい同窓会をつくる必要に迫られています。

私は、先輩やすべての役員の人たちの協力を得て、少しでも新しい同窓会像をつくっていききたいと思います。それには会員各位の熱い支援が必要です。まずは、ご自身のこと・地域のことなどメッセージをいただく事をお願いします。その小さな輪が同窓会を繋ぐ輪となることだと信じています。

同窓会は会員相互の連携を深め、母校や他学部同窓会との多面的な交流など、重要な役割を担っていると考えます。

今後もより多くの同窓生が集えるよう努めてまいりますので、皆さまのご支援並びにご協力をよろしくお願いいたします。

平成25・26年度法学部同窓会 役員組織図



法学部同窓会活動インフォメーション

法学部同窓会 部局別事業計画

法学部同窓会では、理事会・常任理事会・各部局会議が随時行われ、同窓生の親睦と交流、大学の発展に寄与するため、活動を行っています。平成25年度におきましても、事業計画を円滑に推進しさらに同窓会活動が発展していくよう努めます。

事務局

- 諸会議の実施
- 会員名簿の管理
- OB講座の充実
- 無料法律相談会の実施

広報部

- 同窓会会報の発行
- 法学部卒業生向けメッセージパンフの発行
- 同窓会ホームページの管理・運営

財務部

- 資産の効率的かつ安全的運用の検討
- 予算案・決算案の作成

連絡協議会

- 大学・各学部組織された他学部同窓会との連携

渉外部

- 総会の開催
- 地方、支部同窓会およびOB・OG会との連絡調整・助成

監事

- 会計監査

文化部

- 学術書出版者、大学院法研会への助成
- 同窓会奨学金の給付
- 在学生育英事業

同窓会ホームページがリニューアル!

～ 同窓会ホームページ／大学ホームページのご案内 ～

平成25年10月より同窓会のホームページが装いも新たにリニューアルいたしました。

より直感的に見やすくボタンを配置し、季節の写真を織り交ぜた親しみやすいページ構成になっています。

今後は更新頻度も上げ、同窓会のイベントのみならず、入学式や学位記授与式などの法学部が関連する大学主催行事や同窓生からの投稿記事(写真)も掲載予定です。

会報には載せられない、最新の情報を順次発信していきますので、定期的にチェックしてくださいね。



■同窓会HP新アドレス

<http://www.agu-houdosokai.org/>
または [愛知学院大学法学部同窓会] で 検索



■大学の最新情報はこちらから…

大学ホームページ <http://www.agu.ac.jp/>
公式facebook ページ <https://www.facebook.com/aichigakuin>

平成25年度 定期総会・講演会・懇親会 開催

平成25年6月30日（日）に、母校の日進キャンパス学院会館ホールで平成25年度定期総会・講演会・懇親会が開催されました。定期総会は、多数の会員の出席をいただき質疑の上事務局から提議した全ての議案の承認をいただきました。

総会終了後、栗田法学部長に「政治家緒方竹虎再考」と題して講演をいただき、緒方竹虎翁の苦勞・功績を知る事が出来ました。（抄録は6ページにあります。）

講演会終了後、場所をグリルに移して懇親会が開催されました。小出学院長・大野学長・栗田法学部長始め各先生・地方同窓会代表の方、同窓会会員とご家族合わせて210余名の参加をいただきました。今年は、初めての試みとして御家族1グループ毎に参加費として1,000円をご負担していただく事により、お楽しみ抽選会に家族賞を設定させていただきました。

懇親会の最大の楽しみである大抽選会も例年通り開催され、会員のお孫さんによるくじの抽選が行われ番号発表の都度歓声が上がり皆一喜一憂しました。

懇親会の大抽選会



平成25年度お楽しみ抽選会
ゆとり

1等	プラズマクラスター (加湿空気清浄機)	1本 81
2等	IHジャー炊飯器	1本 78
3等	目元エステ コーヒーメーカー(パリスク)	2本 137, 137 2本 12, 63 2本 22, 87
家族賞	オリジナルクッキー	3本 13, 13, 13
4等	ナゴヤドーム (プライムツイン)	1本 101, 101, 101 1本 117, 64, 31
5等	グルメ券	10本 101, 101, 101, 101, 101, 101, 101, 101, 101, 101
6等	オリジナルクッキー	200本
特別賞	ノンフライヤー	1本 119



当たったぞ!

当選おめでとうございます!

1等 当選 プラズマクラスター(加湿空気清浄機)

森 唯一さん(昭和49年卒)

「まさかの一瞬!」

当たった瞬間、まさかと思いましたが、賞品を手にとったとき、しみじみと実感しました。他の人を差し置いて自分がというのが正直な感想です。

2等 当選 炊飯器

加藤 良蔵さん(昭和49年卒)

「母にプレゼント!」

101歳の母は、元気で兄家族と生活していて、食欲も十分あり、プレゼントを喜んでくれました。

3等 当選

プラズマクラスター(車載タイプ)

坂井 克輔さん(昭和51年卒)

「快適!」

狭い空間の車内で気持ちよく過ごせそうです。

3等 当選 コーヒーメーカー

橋本 博孔さん(法研教員)

「まさかの当選!」

同窓会員でもない小生が大きな賞品をいただいてしまい恐縮しております。なかなか個人では買えない貴重な品ですので二重に喜んでおります。

総会報告

平成25年度定期総会は、監事の鈴木厚司さんが議長を務め、
下記の第1号議案から第6号議案までを提議し、すべての議案が承認されました。

- ## 議 題
1. 平成24年度事業報告
 2. 平成24年度会計報告
 3. 監査報告
 4. 役員改選
 5. 平成25年度事業計画
 6. 平成25年度予算



収 支 計 算 書

愛知学院大学法学部同窓会

自 平成24年 4月1日
至 平成25年 3月31日
(単位:円)

科 目	平成24年度予算	平成24年度決算	増 減
I収入の部			
前年度繰越金	195,930,909	195,930,909	
同窓会入会金・会費	14,280,000	14,160,000	- 120,000
大 学 院 会 費	375,000	363,000	- 12,000
受 取 利 息	500,000	667,423	167,423
雑 収 入	150,000	436,000	286,000
合 計	211,235,909	211,557,332	321,423
II支出の部			
連絡協議会費	300,000	300,000	0
総 会 費	5,800,000	5,293,941	- 546,459
会 議 費	850,000	826,955	- 23,045
奨 学 金	1,440,000	1,440,000	0
助 成 金	2,000,000	1,956,699	- 43,341
印 刷 費	2,100,000	2,023,096	- 76,904
通 信 費	1,400,000	1,249,545	- 150,455
人 件 費	3,800,000	3,773,441	- 26,559
旅 費 交 通 費	1,850,000	1,577,585	- 272,415
消 耗 品 費	300,000	156,386	- 143,614
機 器 費	100,000	45,750	- 54,250
備 品 費	100,000	0	- 100,000
在 学 生 育 英 費	600,000	558,384	- 41,616
名 簿 管 理 費	900,000	630,192	- 269,808
雑 費	60,000	26,350	- 33,650
予 備 費	400,000	0	- 400,000
合 計	22,000,000	19,817,834	- 2,182,166
基金積立金繰入	0	100,000,000	100,000,000
次年度繰越金	189,235,909	91,739,498	-97,496,411

第5号 平成25年度事業計画

今日日本を取り巻くあらゆる状況は混沌としています。国内に目を向けてみますと、情報化、国際化が一層進展し、格差の拡大、本格的な少子高齢化社会のなかで、人々の意識や生活の多様化、個性化が進むなど、政治・経済・社会の全ての場面で、変化の潮流が生じております。

国外においては、世界各地で起きている地域紛争の平和的解決、核や環境・人口・人権問題など全人類的な多くの課題を抱えております。また、頻発に発生する世界的な経済・金融危機は、私たちにも多大なる影響を及ぼしてきております。私たちは遠い世界の課題としてではなく、これらを自らの課題としてとらえなければなりません。

このような情勢のなか、母校とともに歩む法学部同窓会は、人類の福祉と文化の進展に貢献するための積極的な活動が重要と考え、次のような諸事業を行ってまいります。

1. 母校および他同窓会との連携を図る事業
 - ・連絡協議会活動
 - ・他同窓会活動への参加
2. 同窓生相互の親睦を図る事業
 - ・定期総会・講演会・懇親会の開催
 - ・年1回の会報の発行
 - ・同窓会ホームページの充実
 - ・地方同窓会および支部活動への支援
 - ・同窓生相互の親睦への支援（OB・OG会合開催）
 - ・在学生への援助・支援（奨学金給付、OB講座、ゲストスピーカー制度等）
3. その他
 - ・地域での法律・税務相談の開催
 - ・同窓生への災害時のお見舞い

第6号 平成25年度予算

愛知学院大学法学部同窓会

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
前年度繰越金	91,739,498	連絡協議会費	300,000
学部入会金・会費	13,360,000	総 会 費	3,800,000
(注)		会 議 費	850,000
大 学 院 会 費	600,000	奨 学 金	1,440,000
受 取 利 息	200,000	助 成 金	2,000,000
雑 収 入	150,000	印 刷 費	2,100,000
		通 信 費	1,400,000
		人 件 費	4,000,000
		旅 費 交 通 費	1,750,000
		消 耗 品 費	300,000
		機 器 費	100,000
		備 品 費	100,000
		在 学 生 育 英 費	600,000
		名 簿 管 理 費	800,000
		雑 費	60,000
		予 備 費	400,000
		小 計	20,000,000
		次 年 度 繰 越 金	86,049,498
合 計	106,049,498	合 計	106,049,498

(注) 学部入会金・会費は1本で計上する。(大学からの費消により)

総会にて各議題とも承認されました。

今年はあなたが1等当選者になるかも！

今年も下記の景品テーマで準備します。出席をお待ちしています。

平成26年度の同窓会総会・懇親会は

**平成26年6月28日(土)に
名古屋東急ホテル**で開催します。

恩師との再会を楽しみに…
同級生との再会を楽しみに…
いやいや大抽選会を楽しみに???
是非、ご家族でご参加下さい!!

※総会案内は5月中旬にお送りします。

「大抽選会」の景品のテーマは“安心・安全”

- 1 等 旅行券
- 2 等 スロージューサー
- 3 等 ザイグル (赤外線サークルロースター)
バーミキュラ (無水鍋)
レイコップ (ふとん専用ダニクリーナー)
- 4 等 野球観戦チケット(ペア)
- 5 等 グルメ券
- 6 等 商品券

家族賞もあります。

※景品は変更になる場合があります。

法学部長講演会

「政治家緒方竹虎 再考」

法学部長 栗田直樹



私の専門は日本政治史という学問ですが、政治史の王道は何と言っても政治家の伝記的研究だという言い方があり、私自身もそうした考えをもつ研究者の一人です。歴史ばかりを30年も勉強してきた私は、自分でもあきれ果てる程の世間知らずであり、今現在の実際の政治や政治家についての知識は、正直あまり有るとは言えません。ただ、そんな私も、最近の政治に関する様々な風景を見せられた時、さすがに昨今の政治家というのはちょっと違うのではないかと、そういうことを感じないではいられません。やはり、決まりきった言い方ではありますが、日本人も歴史や過去の日本人から学ぶ、あるいはかつての時代の政治家について勉強してみるという姿勢が少しはあっていいのではないかと、そんな気持ちになります。

私は本来歴史とは、現に通用している常識や価値観でもって評価してみたり、ましてやそれを断罪してみたりするものではなく、むしろ深く味わうべきもの、理解すべきものだと考えています。したがって、歴史の教訓から学ぶなどということを、軽々しく言うのはあまり好きではありません。ただ、それでも、やはりかつての日本人がどのような政治家を自分たちの指導者として選んできたのかとか、彼らはどのようなことを成し遂げたのかとか、そうしたことに興味をもって知っておくことも損はない。また、そこから何かを学び取るというところまでは行かないにしても、それをもう一度振り返っておく、おさらいをしておく、そしてそうして得た知見を継承していく、そういうことも重要なのではないのでしょうか。

かつて日本に、緒方竹虎という政治家がいました。日本にもこんな政治家がいたということを知っていただきたいと思うのですが、緒方はもともと朝日新聞で活躍したジャーナリストでした。その後朝日の編集局長や主筆を経て政界に入り、昭和一九年小磯内閣ができた時国務大臣兼情報局総裁になります。そして、そのあと敗戦直後の東久邇宮稔彦内閣で書記官長として活躍します。この時の活躍から、彼を高く評価する特に政治のプロたちが、その水際立った行動に着目するようになります。東久邇宮内閣の実体は「緒方内閣」でしたが、緒方は、敗戦直後に成立したこの異例の内閣において中心的な役割を果たしました。また、敗戦という未曾有の事態のなかで予想された軍や国民の反乱を未然に防いで秩序の維持をはかること、連合軍の進駐を平穩のうちに受け入れること、さらに国民に「敗戦」を納得させる、言い換えれば、政治というものが「敗戦」をうまく演出すること、そうした課題を成し遂げました。

私は緒方という人物について勉強しましたが、一般に歴史を研究するということは、なかなかおもしろいものです。私は、現実の生活なり政治なりに、歴史の教訓を生かすなどということを言いたくないのですが、それでは歴史など勉強しても何の役にも立たないのかと問われれば、逆に、役に立たないものは全て無意味なのかと反問したくなります。百歩譲って、仮に歴史なんか学んでも何の役にも立たないということを認めるとしても、それでも歴史というのはとにかくおもしろい、勉強せずにはいられない、そういうものだと思います。そして、思考や発想を豊かにします。昨今の政治家はちょっと違っていいのか、それともあれでいいのか。そんなものなのか。そうした些細なことを考える場合でも、歴史を学ぶ人と学ばない人とでは、やっぱり発想の豊かさや視野の広さ、思考の深さという点で違いが出てきてしまうのではないのでしょうか。

栗田法学部長講演の「講演録」を刊行しました。

「講演録」をご希望の方は、卒業年度・氏名・送付先郵便番号・住所・TELを明記の上、送料（切手350円）を添えて同窓会事務局へお申し込みください。お届けできるのはお申し込みから2週間くらいです。





初めまして。弁護士の長谷川 知正といたします。

私は、愛知学院大学の法学部現代社会法学科の第1期生、法科大学院の第2期生であり、現在、愛知県弁護士会所属の弁護士として活動をしています。

また、現在も、愛知学院大学の法科大学院のチューター講師及び居合道部（日本刀を扱う武道）のコーチとして大学に深く関わっています。

さて、第3回目は、「成年後見」をテーマにお話します。

「成年後見」とは、認知症や知的障害、精神障害等の精神上の障害により、契約や財産管理につき判断能力が低下した人を支援・保護するため、成年後見人等が本人の契約や財産管理に関与する制度です。近年増加している高齢者を狙った詐欺や悪徳商法の被害の未然防止のため重要な制度であり、「法定後見制度」「任意後見制度」に分けられます。

「法定後見制度」は、本人、配偶者、四親等内の親族、検察官、市町村長等が本人の住所地の家庭裁判所へ申立て、裁判所の開始決定により利用できます。内容は、本人の判断能力に応じ、判断能力が欠けている場合は「後見」、著しく不十分な場合は「保佐」、不十分な場合は「補助」となり、それぞれ、「後見人」、「保佐人」、「補助人」が選任されます。必要に応じて監督人が選任されることもあります。

契約能力につき、「後見」は、日常生活上の契約を除き契約が出来なくなり、後見人が代わりに行います。「保佐」は、借金等の法定の契約（民法第13条1項）、及び審判時に追加した契約が制限され、「補助」は、審判時に「保佐」で制限される契約の一部を制限されます。そして、制限された契約につき保佐人、補助人の同意が必要となります。これらの制限に反する契約は本人及び後見人等が取消すことが出来ます。なお、「保佐」「補助」の場合、保佐人、補助人に特定契約の代理権を付与する審判を求めることも出来ます。

「後見」「保佐」の場合、一定の国家資格や会社役員、公務員等についての資格制限があります。以前は「後見」の場合に選挙権制限がありましたが、裁判所が憲法違反と判断し国会が法改正したため現在はありません。

「任意後見制度」は、判断能力が不十分になることに備え、任意後見人を選任し、本人の生活等や財産管理に関し代理権を与える契約を公証人の作成する公正証書で結ぶものです。「法定後見制度」と異なり、本人の契約能力制限がなく、取消権もありません。他方で代理権範囲を契約で定めるため、本人の意思に沿った適切な保護・支援が可能になります。

後見人等は、法定後見の場合は本人の親族や弁護士等の専門職の者が、任意後見の場合本人が選んだ者が行います。職務は、本人の財産管理や契約等の法律行為等に限られますが、これらを通じ、本人の生活・医療・介護福祉の実施に目を配り保護・支援する役割を担います。また、職務のチェックは、裁判所が後見人等からの職務報告を通じた監督により、監督人がいる場合はその監督も含めて行われます。

本学卒業のOB弁護士（敬称略）

氏 名	所属先	住 所	電話番号
鈴木 健治	鈴木健治法律事務所	名古屋市西区城西 1-8-16 杉浦ビル 2 階	052-532-8320
村田 武茂	村田法律事務所	名古屋市中村区名駅 4-17-3 メイヨンビル 8 階	052-561-1785
野々垣 吉曜	佐賀千恵美法律事務所	京都市上京区丸太町通堀川西入北側西丸太町 171 中西ビル 3 階	075-841-6730
加藤 幸英	隼綜合法律事務所	名古屋市中区錦 2-3-11 ニシキ 21 ビル 8 階	052-222-8055
鈴木 亮	あすなろ法律事務所	名古屋市中区丸の内 2-1-37 エスパシオ丸の内 3 階	052-201-7391
早川 雄一郎	東海ブライト法律事務所	愛知県東海市大田町後田 95-1 I.P.S. 大村 4 階	0562-85-4947
堀田 泰成	浅賀法律事務所	名古屋市中区丸の内 2-8-11 セブン丸の内ビル 4 階	052-232-7860
菊田 直樹	中京法律事務所	名古屋市中区丸の内 3-19-5 FLEZIO LA 9 階	052-950-5355
山本 英季	浅賀法律事務所	名古屋市中区丸の内 2-8-11 セブン丸の内ビル 4 階	052-232-7860
吉田 光利	弁護士法人春日井法律事務所	春日井市鳥居松町 5-78 名北セントラルビル 6 階	0568-85-4877
長谷川 知正	実法法律事務所	名古屋市中区丸の内 2-1-37 エスパシオ丸の内 3 階 8A	052-202-8838

本年度法学部奨学生からのメッセージ

平成25年6月30日の同窓会総会に続く懇親会の席上で、平成25年度法学部同窓会の奨学金給付を行いました。奨学生は、在学生と大学院生から公募され、選考された奨学生に対して、同窓会から奨学金(年額24万円)が給付されました。



法学研究科2年 三浦 大樹 (みうら だいき)

この度は、平成25年度法学部同窓会奨学生に選定して頂き、誠にありがとうございます。素晴らしい教授陣や愛知学院大学の環境の下、日々充実した学生生活を過ごすことができ、大変感謝しています。また、常に私を気遣い、惜しみないサポートをしてくれる家族にも大変感謝しています。

これからも、奨学生という自覚を持ち、より一層勉学に励んでいきたいと思っています。本当にありがとうございました。



法務研究科1年 二階堂 拓郎 (にかいどう たくろう)

この度は、平成25年度法学部同窓会奨学生に選んでいただき、誠にありがとうございます。

現在、私が充実した環境の下で勉学に励むことができるのは、教授陣をはじめ、法務研究科のスタッフ、大学関係者の方々の御支援のおかげと思っています。

奨学金を書籍の充実にあてさせていただき、今後も、奨学生という自覚と責任をもって、より一層勉学に励みたいと思っています。



現代社会法学科4年 伊藤 嘉啓 (いとう よしひろ)

この度は、平成25年度法学部同窓会奨学生に採用して頂き、誠にありがとうございます。

現在、「誤判・冤罪の原因と、その防止策」の研究を中心に、充実した法学の学びができていますのも、ひとえに法学部の先生方や同窓会の先輩方のご尽力、また家族や友人の支援のおかげです。心より、感謝致しております。

これからも、夢である高校の社会(公民)科教師を目指し、奨学生としての自覚と責任を持って、より一層勉学に励んでいく所存です。



法律学科3年 平川 貴央 (ひらかわ たかひさ)

この度は、平成25年度法学部同窓会奨学生に選んでいただき、ありがとうございます。

今回奨学生に選んでいただけたのはひとえに法学部の諸先生方や同学年の仲間達のおかげだと思っています。大学生活で勉学に励んだりアルバイトやボランティア活動などで社会経験を積んだりすることの時間には限りがあります。残り少ない学生生活の中で大学生の間にしかできないような経験を積んでいきたいと思っています。



法律学科3年 中川 政和 (なかがわ まさかず)

この度は、平成25年度法学部同窓会奨学生に選定して頂き、誠にありがとうございます。多くの候補者の中から選んで頂いた事を光栄に思います。今の私があるのも、愛知学院大学の充実した環境や先生方、友人等の惜しみない支えがあってのものだと思います。

大学生活での4年間で一生の宝物にできるよう、これからも奨学生としての自覚を持ち、より一層勉学に励み、多くの人との出会いに感謝し続けていきたいと思っています。



法律学科2年 新家 優季 (しんや ゆき)

この度、平成25年度の法学部同窓会奨学生に多くの候補者の中から選定して頂き、有難うございます。その事に対する感謝と自覚と誇りを持ち、学業に邁進いたします。

大学という高度な学問の庭で、法学を学び始めて一年が経ちました。長い歴史を持つこの学問に深く関わる事を許されたのは、両親、先生方、緒先輩方など多くの先人のお蔭です。今この場を借り深く感謝し、これからの時間を価値あるものにする為努力して参ります。

新司法試験(新67期)に合格

～合格者の喜びのメッセージ～

平成25年9月10日、法務省より本年の新司法試験の合格者が発表され、本学法科大学院(ロースクール)修了者のなかから3名が合格しました。



若山 智重 (わかやま ともしげ)

私は、2008年に愛知学院大学法務研究科に進学し2011年に修了しました。そして、この度3度目の受験で司法試験に合格することができました。現在の司法試験制度は3回という回数制限が存在するため、事実上のラストチャンスでした。

いつかは受かると信じて勉強に励んで参りましたが、2度の不合格という体験はさすがに堪えました。しかし、本学の先生方や本学でご指導いただいている弁護士の方、そして学友の励ましを受け、気持ちを立て直して最後の受験に臨むことができました。

また、法学部同窓会の皆様方の手厚いサポートによって勉強に専念する環境を整えていただいたことには感謝の念にたえません。この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

昨今、法科大学院をめぐる報道はバッドニュースの嵐ですが、幸いにも司法試験に合格したからには、できる限りの力を尽くして社会の役に立てるよう励んでいく所存です。



運天 寛樹 (うんてん ひろき)

私は、地元である沖縄の大学を卒業後、2年間専門学校の講師として勤務した後、2010年に愛知学院大学法科大学院に入学しました。そして、2013年に卒業後、その年の司法試験に無事1回目で合格することができました。

愛知学院大学法科大学院に入学して思ったことは、少人数ということもあって、縦の関係が非常に密接であると感じました。人と話をするのが好きな私は、合格者や先輩、後輩とも仲良くさせていただき、試験に有益な情報をいろいろと教えていただきました。順調に1回目で合格できたのは、その事が大きかったと思っています。

法学部同窓会様に奨学金給付をしていただいたことも、自ら学費を負担していた私にとっては、非常に大きな支援となりました。改めて感謝申し上げます。

今後、修習が始まりますが、司法試験合格という結果に満足せず、明るい性格を活かし、みんなから愛される親しみやすい弁護士になれるよう頑張っていきたいです。



白村 大勲 (はくむら だいくん)

私は、本当に多くの方に支えられ、司法試験に合格することができました。在学中は多くの先生はもちろん、一緒に勉強する仲間にも恵まれました。同じ夢を持つ学生同士が切磋琢磨し、お互いを高めていけました。また、先生たちにおかれましても、授業とは別に、個別的な学習会を開いて下さり、本当に親身になって教えていただきました。

法科大学院卒業後も、司法試験受験を全面的にバックアップして下さい、大変ありがたい支援をいただきました。

今回の合格は、私だけの力では決して成し遂げられなかったと思います。先生に恵まれ、仲間にも恵まれ、学習環境に恵まれて、家族や多くの方の支えによるものだと思います。

この感謝の気持ちを忘れず、絶えず精進し、人の痛みのわかる法曹になり、少しでも恩返しができればと深く思っています。

法学部卒業生のOBが講師となって、自分の職業と法学の関係を語る講座「キャリアデザインと法学」が今年度も春期に開講され、学生から高い評価を受けました。この講座は法学部同窓会が大学に協賛して実施するもので、今回で10回目となります。

平成25年度において講義していただいたOB(敬称略)

講義日	テーマ	講 師	ジャンル	
4/17	広告について～広告ってどこに売ってますか?～	加藤 智生	広告代理業	中電興業(株) アド・サービス部 次長
4/24	地方公務員(行政職)の仕事について	八木 紀光	公務員(行政職)	名古屋市役所 西部医療センター 医事係長
5/1	弁護士の仕事について～交通事故を題材として～	長谷川 知正	弁護士	実法律事務所
5/8	銀行の仕事とは?	市江 佐知	金融業	中京銀行 名古屋中央支店
5/15	土地に対する日本人の考え方	北村 忠和	不動産業	(株)北和不動産 代表取締役
5/22	テレビ局の裏側!～若い感性・男女の感性の違い～	藤本 純子	マスコミ(放送)	フリーディレクター
5/29	土地家屋調査士って何?	平井 立樹	土地家屋調査士	平井測量登記事務所 所長
6/5	司法書士の仕事について	植松 令子	司法書士	植松令子司法書士事務所
6/12	社会に貢献する自衛隊	青島 司	自衛隊	陸上自衛隊 3等陸尉
6/19	身体障害者である私にとっての仕事～パワーリフティングとの両立～	宇城 元	飲食業	(株)サガミチェーン 監理部 経理財務担当マネージャー
6/26	新聞の「力」	松野 幹郎	マスコミ(新聞)	岐阜新聞社 編成局編成本部整理部 主任
7/3	警察の仕事	大江 英生	公務員(警察)	愛知県警察本部 警備部災害対策課長
7/10	消防の仕事について	柘植 和樹	公務員(消防)	名古屋市消防局 総務部総務課主任

無料

法律・税務相談

法学部同窓会主催 無料法律・税務相談を開催しました。

- 開催日：平成25年11月2日(土)
- 場 所：愛知県犬山市松本町
犬山国際観光センター フロイデ
- 相談件数：16件
- 相談内訳：金銭貸借 2件、隣地境界 1件、
借地借家 2件、相続 1件、
その他 4件、税務 6件



法学部同窓会 事務局からのお知らせ

皆様のお名前・住所・勤務先・電話番号等
変更の場合は、ハガキ・FAXで
法学部同窓会事務局へご連絡ください。

あなたの力を貸してください。同窓会活動に参加してみませんか!!
同窓会活動はボランティアで成り立っています。いま、同窓会役員を募集しています。
詳しい応募の方法は同窓会事務局にお問い合わせください。

個人情報の取り扱いについて

- 同窓会事務室への電話等の問い合わせについて………
同窓生の住所・電話番号・ゼミ名等の個人情報は、お答えしません。

- 同窓会・クラス会・OB会など開催するために、
該当者の住所など、個人情報が必要な場合は、
同窓会事務局へお問い合わせください。

個人情報保護法の趣旨に則り、同窓生の個人情報については慎重かつ適切に
処理してまいりますので、皆様のご理解の程をお願い致します。

事務局業務時間について

月～金/9:00～16:00 土、日、祝日はお休みです。

法学部同窓会事務局

〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池12
電話 0561-73-1111(内線 2303) FAX 0561-74-1410
メール houdoso@dpc.agu.ac.jp

地方同窓会

愛知学院大学同窓会は、地方でも活動しています。そんな地方同窓会総会の模様をレポートしてもらいました。

関西同窓会

■開催日:平成25年9月1日(日) 大阪キャッスルホテル

9月1日(日)午後12時より関西同窓会懇親会が大阪キャッスルホテルにて開催されました。参加者は来賓8名会員30名で前回より数名少なかった様ですが、新会長に山田晃生様が就任されセレモニーの後の懇親会ではビンゴゲーム等で大変盛り上がりしました。大学代表としてキャリアセンター部長酒井邦雄先生、本部同窓会として各学部の同窓会を代表して5名参加致しました。大学代表として酒井邦雄先生より大学の近況報告と特に平成26年4月開校の名城キャンパスの説明とその影響もあり入試では多くの志願者があった旨の挨拶がありました。大変大雨の中でしたが出席者皆さんが楽しい思い出に花を咲かせ誠に有意義な懇親会でした。 正田 勇喜致(S39卒)

広島同窓会

■開催日:平成25年10月12日(土) ホテルグランヴィア広島

10月12日渉外部員の市江さんと参加しました。広島同窓会は今回創立20周年ということで大野先生(学長)が「仏教における不安と苦悩の解決法」という演題で記念講演をされました。講演の中で私の頭の中に残ったのは「嫌いなものを食べる」という言葉です。これは嫌いなものを食べるということはすべて受け入れるということらしいですが、私みたいな凡人にはなかなかできそうにない事なので興味をもちました。参加者は60名余り。今回もまた卒業して初めて参加という人もみえ、渉外をやってきた私としましてはこれからも毎年出席してほしいと願わずにはいられませんでした。久しぶりに会う同窓生とはいいものです。気持ちがその時代に戻れるからです。次回も元気にまた会いましょう!! 伊藤 桂子(S45年卒)

関東同窓会

■開催日:平成25年10月26日(土) 三笠会館

10月26日(土)関東同窓会懇親会に出席しました。大学側の代表として高木敬一学生部長が出席され大学の近況の報告がありました。総勢で約35名ほどの出席があり先輩・後輩が久しぶりに顔を合わせ懇談する風景はいつ見てもいいものです。私も旧知の顔をみつけ、久方ぶりの歓談に時のたつのも忘れるほどに和やかな時間を過ごさせていただきました。これからも本部同窓会と地方同窓会の連携を密にしていきたいとの想いを胸に帰ってまいりました。 大矢 孝彦(S42年卒)

山陰同窓会

■開催日:平成25年10月26日(土) 芙蓉別館

山陰同窓会は島根県と鳥取県での隔年開催となっており今回は鳥取県側の米子市で行われました。50名近くの参加者で開始前に集合写真を撮影。近藤康之氏(商)の司会のもと、中垣代表幹事の挨拶で開会、大学から引田弘道部長から①名城公園キャンパス移転 ②池上彰氏の特任教授任用 ③野球部浦野君(法)の日本ハム指名の報告がされ、同窓会本部を代表して津田正昭氏(歯)の来賓挨拶と続き、私の乾杯音頭により歓談へと進行。途中、前回同様、高2生になった「八田保之香さん」による歌謡ショー、お楽しみ抽選会がはさまれ、杉原弘一郎氏(商)の閉会のことばで締め、全員が輪になり校歌斉唱、鈴木正敏氏(商経会)の万歳三唱で、皆和気あいあいのうちに終了!!



伊藤 照夫(S48年卒)

四国同窓会

■開催日:平成25年11月9日(土) リーガホテルゼスト高松

11月9日(土)四国同窓会第20回懇親会に出席いたしました。今回は創立20年ということで、大野榮人学長の記念講演がありました。また懇親会では挨拶と大学の近況報告があり、本部同窓会から商経会総務部副部長吉川力、木村公二、文学部心身科学科会長吉田美恵子、財務部長土田徹、歯学部副会長野村和男、広島同窓会、山陰同窓会からも出席され約50名参加のもと盛況に開催されました。今回は女性、若い人の参加もあり、またアトラクションでは、溝口孝(商卒)のバンド演奏があり、学生時代にタイムスリップしたような有意義なひと時を過ごすことができました。ここまで同窓会の為に頑張ってくれた役員の方たちに敬意を表し、もっともっと参加者が出席していただけることを願っています。最後は校歌を歌って散会となりました。



中津 範明(S51年卒)

岐阜県同窓会

■開催日:平成25年10月27日(日) 岐阜グランドホテル

岐阜県同窓会創立20周年記念事業&レセプションに出席した。記念事業としてパネルディスカッションがあった。パネリストには、大野榮人学長、福西紀雄岐阜県同窓会名誉会長(天竜ホールディングス(株)代表取締役、商S38年卒)、酒井哲夫岐阜県同窓会(株)J-ART代表取締役会長、商S45年卒、兵東 巖岐阜県同窓会(岐阜市民病院口腔外科部長、歯S60年卒)、丹羽英之岐阜県同窓会会長(株)日本テクノサービス代表取締役、商S39年卒)の5氏と、コーディネーターの神保絵利子岐阜県同窓会理事(岐阜新聞社編集局生活文化部副部長)によって進められた。パネルディスカッションは、事業(仕事)、学生時代の思い出、ここまでの成功・失敗談、健康への気遣いなど、多岐に亘り神保コーディネーターの巧みな進行で、大変有意義なディスカッションが展開された。続いてのレセプションはいつものように校歌斉唱から始まった。丹羽英之岐阜県同窓会会長の挨拶、大野榮人学長の挨拶の後、来賓の、加藤勇法学部同窓会参与、服部修歯学部同窓会副会長、稲葉護行情報政策学部、総合政策学部同窓会会長が挨拶をした。アトラクションは、本学吹奏楽団による、懐かしい曲や楽しい曲の演奏があった。全体として記念となる、和気藹々とした有意義なひと時であった。出席者数約90名。 加藤 勇(S38年卒)

OB・OG会合 開催報告

「OB・OG会合」とは法学部同窓会会員が5人以上籍をおく、会またはグループで、法学部同窓会長が「OB・OG会」として認めたもので、法学部卒業生がゼミナール・卒業学年・クラブ・サークル・職場・在住地域で交流する会またはグループの会合です。OB・OG会を開催された時、出席者1名につき、2千円を助成します。

(限度額があります。詳しくは同窓会事務局へお問い合わせ下さい。)



第2回 ^{はんりゅうかい} 帆立会総会／平成24年12月22日(土)

鈴木慎太郎ゼミ第2回のOB・OG会が平成24年12月に行われました。現役生をはじめ大学を卒業し、さまざまな道歩んでいる皆が揃い、近況を報告し、大学時代とはまた違った会話を行うことができ、とても充実した時間を過ごすことができました。現役生からはゼミの様子や就職活動への不安や抱負などを聞くことができ、お互い刺激になるような話ができたとと思います。この刺激は社会人にとっても、学生にとっても、常に持ち続け一歩一歩前に進むために活力となるとと思います。年に1回のこの会を今後も大切にしていきたいとと思います。

川西 祐哉(H24年卒)



自動車部OB懇親会／平成25年5月25日(土)

五月晴れのもと、昭和51年～57年卒業生23名で開催されました。東京、岐阜、愛知、奈良、兵庫、鳥取、福岡から出席していただき卒業以来初めてお会いする会員もみえました。3名の物故会員への黙祷をしてから乾杯へ進み、近況報告では各界で活躍されている会員のバイタリティーを見せつけられ、また出席できなかった会員(重慶、埼玉、神奈川、岐阜、愛知)からのメッセージが読み上げられると仲間をあらためて痛感しました。持ち寄ったゲームの景品に感激し誰もが笑顔の大盛況の会となり心身ともにリフレッシュすることができました。

鈴木 文蔵(S53年卒)



第2回 ^{こっしんかい} 兀伸会／平成25年6月30日(日)

村上ゼミ第2回兀伸会が行われました。前回は、年度末ギリギリになりましたが、それではマズイということで、今回は、当初の予定通り6月の法学部同窓会後の開催でした。私たち昨年の卒業生も新たに加わり、村上先生も「会の財産がまた一つ増えた」と喜んでおられました。当日、初めて会った人も多かったですが、名刺交換から始まり、あっという間にうちとけていきました。それぞれの仕事や将来のこと、ゼミでの思い出やバカ話まで、4時間近くも!それでも足りず、2次会もほぼ全員で、翌日、平日でなければどんなに良かったかと…。学年を越えて、お互いに良い刺激を受け、充実したひと時となりました。早くも次回が待ち遠しいです。

山本 崇史(H24年卒)



石田ゼミOB・OG会／平成25年7月14日(日)

平成25年7月14日に、石田ゼミの第2回OB・OG会が行われました。全員が参加することは中々難しかったのですが、それでも15名も集まりました。懐かしい顔ぶれもあり、学生時代の話や社会人になった現在の話など、様々な話題で楽しみ賑わいました。もっとたくさん話をしたかったのですが、あっという間に時間が過ぎてしまいました。とても良い会にできました。今回参加できなかった人たちは残念ですが、多くの人が協力し、集まってくれたことにとても感謝しています。今後も恒例行事として続けていければ良いと思っています。

永尾 啓浩(H23年卒)



そうそうかい 叟々会「加藤こうさんを偲ぶ会」／平成25年9月29日(日)

平成25年9月29日(日)、キャッスル・プラザ・ホテルにて、世話人会代表、安藤士土君の呼び掛けで、加藤次男君の伴侶であった「加藤こう(商学部・36年卒)さん」を偲ぶ会が催された。故人の人徳の故でしょう。同窓生・クラブ関係者を中心に53名の方々が出席された。開会の挨拶に始まり、黙祷・来賓・小出学院長の挨拶、献盃と続き、会食へと移りました。司会者の絶妙な進行により、各テーブル毎に、ありし日の故人を偲び、様々な逸話が披露され、東京から参加していただいた鈴木敏和先生(元法学部教授)からは、今は亡き、初代学長、小出有三先生に二人の媒酌をお願いし、照蓮寺ビルで仏式による挙式がとり行われたこと等、会場は和やかな雰囲気包まれ、最後は「大講堂の朝ぼらけ…」の校歌の斉唱で、お開きになりました。

岡本 弘道(S36年卒)

人事(法学部関係)

- 新任(平成25年4月1日付) 法学部 刑法 野村 健太郎(講師)
- 昇任(平成25年4月1日付) 法学部 商法 村上 康司(准教授)
- 退職(平成25年3月31日付) 法務研究科 民法 右近 健男(教授)

湯浅道男先生の専門は民法学。専門分野である民事法、特に担保法、仮登記担保法理論に関する研究において先駆的な提言を果たしました。しかし、神戸大学において取得した法学博士の論題は、「イスラーム婚姻法の近代化」でした。この分野は、それまで誰も手をつけることがなかった領域でありました。先生は、数多いアジアの山脈を通じ、そこに住む人たちと同じ目線に立ち、交流を重ねることによって初めて得られる信頼関係を基盤に「文化人類学」・「法人類学」的視点から研究を進めることができたことに起因します。

1968年にアフガニスタンのコー・イ・バンダコール山(6,843m)に愛知学院大学の山岳部をご自身が隊長となり学生を登頂に導いた時から運命づけられたものだともいえます。登頂後、1人の学生を滑落事故で命を失うというアクシデントが起りました。事故当時に遺体が発見できず、その後なんどもアフガニスタンに向かったのです。遺体捜索という悲しく辛い作業の中

で、厳しい詰問もありました。しかしなによりも、先生ご自身の中で「彼はこの国に生き続けてくれる、そう信じて。それを心に刻むために、彼の命に報いるために何ができるか？」自問自答の末、自らが研究者であることを再認識し、その道をひたすら歩むことで生涯をかけて償うこと、それがご自身の使命だと決めたのでした。それが「イスラーム婚姻法の近代化」として結実したのでした。

湯浅先生を懐かしく思った同窓生のみなさんには、それぞれの湯浅先生との思い出が深く心に刻まれているものと思います。人を愛し、山を愛した湯浅道男先生は、いまもたくさんの同窓生たちの心のよりどころとなっています。

現在は、すべての公務から退かれ、これまで家族と過ごす時間が少なかった分を取り戻すべく毎日ゆっくりと、静かに過ごしているとのことです。

湯浅先生の略歴

- 1937年 千葉県生まれ
- 1962年 早稲田大学第一法学部卒業
- 1964年 早稲田大学大学院法学研究科修士課程修了
- 1964年 愛知学院大学法学部助手
- 1970年 愛知学院大学助教授
- 1976年 愛知学院大学教授
- 1985年～1987年 愛知学院大学法学部長
- 1989年 神戸大学法学博士
- 1992年～2002年 愛知学院大学学生部長
- 2002年～2003年 愛知学院大学大学院法学研究科長
- 2003年 名古屋弁護士会弁護士登録(2007年退会)
- 2003年～2005年 愛知学院大学法務研究科長
- 2008年 愛知学院大学名誉教授
- 2008年～2011年 朝日大学大学院法学研究科教授



写真は大学院のゼミ生たちとの集い。
優しい笑顔の先生を囲んだひと時。

多忙な公務の中あっても、これまでに、専門について単著…2冊、共著…57冊、論文…60本を超え、判例研究…77本、翻訳…5本、その他に山岳関係の論文、評論等。その業績質・量から湯浅先生の学問・登山への強い情熱が理解できる。

付記

湯浅先生は、世界最高峰エベレスト登山(73年、88年、94年)3度隊長として成功させた。その足跡は、アフガニスタン、パキスタン、中国の山々にしるし、とりわけネパール渡航歴は40数回に及び、両国の登山界の交流の貢献によってネパール国王よりグルカ勲章を受章し、ネパール山岳協会名誉会員、日本山岳ガイド連盟会長、文部省登山研修所友の会会長、愛知県山岳連盟会長等を歴任されたことも記しておきます。

この1年間のクラブ活動成績(個人・団体)

個人の部

※学科欄の 色つき部分は法学部に在籍する学生を示します

クラブ名	学科	氏 名	大 会 名	成 績
弓道部	国際文化	田中 美沙	愛知県下学生弓道選手権大会	優勝
硬式庭球部	総合政策	船橋 主	東海学生春季テニストーナメント	シングルス：優勝
	経済	中西 一仁	東海学生新進テニス選手権大会	シングルス：優勝
ソフトテニス部	現代企業	青木 彰彦	東海学生ソフトテニス選手権大会	ダブルス：優勝
	現代企業	青木 雅彦	東海学生ソフトテニス選手権大会	ダブルス：優勝
硬式野球部	歴史	波多野 利彦	愛知大学野球連盟秋季リーグ戦	最優秀防御率選手賞
	現代企業	萩原 大起	愛知大学野球連盟秋季リーグ戦	ベストナイン
	現代企業	古川 昌平	東海・北陸・愛知三連盟王座決定戦兼明治神宮野球大会連盟代表決定戦	敢闘賞
	経営	辻 直樹	愛知大学野球連盟春季リーグ戦	新人賞
	経営	石橋 拓朗	愛知大学野球連盟春季リーグ戦	ベストナイン
ゴルフ部	健康科学	中村 優真	全日本バブルックアマチュアゴルフ選手権競技	準優勝
	健康科学	田口 智敬	中日杯争奪学生ゴルフ選手権競技	優勝
柔道部	歴史	戌亥 政人	東海学生柔道冬季優勝大会	優秀選手賞
			愛知県段別選手権大会	三段：優勝
			東海学生柔道体重別選手権大会	100kg級：優勝
	歴史	山本 賢太	愛知県学生柔道新人優勝大会	優秀選手賞
	法律	鈴木 航	愛知県段別選手権大会	参段：優勝
	歴史	森 勇人	愛知県段別選手権大会	初段：優勝
少林寺拳法部	歴史	石浜 莉那	愛知県少林寺拳法大会	男女級拳士：最優秀賞
	歴史	神谷 弘輝	少林寺拳法東海学生大会	男子単独演武・段外：優勝
			愛知県少林寺拳法大会	男女級拳士：最優秀賞
	現代社会法	渡邊 康太	愛知県少林寺拳法大会	男子二段：敢闘賞
	法律	濱野 勇太	東海学生新人大会	男子単独演武茶帯の部：優勝
			愛知県少林寺拳法大会	男子二段：敢闘賞
	経営	船木 優志	愛知県少林寺拳法大会	男子三段：敢闘賞
	ビジネス	平岩 空	東海学生新人大会	自由組演武：優勝
			東海学生新人大会	立合評価法：優秀賞
	経営	小林 大起	東海学生大会	運用法：最優秀賞
スキー部	法律	立松 秀平	よませ全国スキーチャンピオンシップ	スーパー大回転：優勝、大回転：優勝、回転：優勝
	総合政策	丸山 隼士	全国学生岩岳スキー大会	基礎スキー男子：3位
相撲部	経営	時田 一希	全国学生相撲個人体重別選手権大会	60kg未満級ベスト8
馬術部	商	深谷 峻平	愛知学生競技会	M級D障害(H110cm)：優勝
			愛知学生トライアル競技会	馬場馬術科目A：優勝
			中部学生馬術選手権大会	優勝
	宗教文化	正村 桜	愛知学生トライアル競技会	M級D障害：優勝
バレーボール部(男子)	総合政策	山内 晶大	東海大学男女バレーボールリーグ戦春季大会	スパイク賞
競技ダンス部	日本文化	田川 貴一	学生競技ダンス選手権大会学年別戦	3年生：優勝
			西日本ラテン戦	総合：準優勝、サンバ・ルンバ・バソ：準優勝
	総合政策	高谷 智史	学生競技ダンス選手権大会学年別戦	フォックス・クイック：優勝
			中部日本学生競技ダンス選手権モダン戦	総合：優勝、ワルツ・タンゴ・フォックス・クイック：優勝
	総合政策	伊藤 蔽弘	学生競技ダンス選手権大会学年別戦	ワルツ・チャチャ：優勝
			中部日本学生競技ダンス選手権ラテン選手権	新人戦 総合：優勝、チャチャ・サンバ・バソ：優勝
			中部日本学生競技ダンス選手権種目別戦	新人戦 総合：優勝、タンゴ・フォックス：優勝
ボウリング部	現代企業	藤井 和真	全日本大学選手権大会	ハイアベレージ賞、ハイシリーズ賞、ハイゲーム賞
ボクシング部	法律	鈴木 慎二	中部学生ボクシングトーナメント	バンタム級：優勝
	健康科学	松脇 彰	中部学生ボクシングトーナメント	ライト級：優勝
	国際文化	村松 政実	中部学生ボクシングトーナメント	フライ級：優勝
	総合政策	岩田 侑磨	中部学生ボクシングトーナメント	ウェルター級：優勝
	総合政策	尾関 翔太	中部学生ボクシングトーナメント	ミドル級：優勝
ウエイトトレーニング部	商	三浦 涼	中部学生パワーリフティング選手権大会	男子53kg級：優勝
	健康科学	飯田 貴光	中部学生パワーリフティング選手権大会	男子74kg級：優勝
	宗教文化	鈴木 博之	中部学生パワーリフティング選手権大会	男子93kg級：優勝
日本拳法部	健康科学	山本 千夏	中部日本学生拳法選手権大会	優勝
	現代社会法	山中 徹	中部新人日本拳法個人戦優勝大会	初段・一級：優勝
	法律	伊藤 大輝	日本拳法愛知県大会	一般男子有級：敢闘賞
ヨット部	経営	岡本 淳	中部学生ヨット個人選手権	470階級：優勝
	法律	岡崎 翔平	中部学生ヨット個人選手権	470階級：優勝
	国際文化	大島 旭	中部学生ヨット個人選手権	470階級：優勝
洋弓部	法律	角谷 瞬	スキーアーチェリー野沢カップ	準優勝
陸上競技部	健康科学	宮本 和佳	愛知県陸上競技選手権リレー大会	男子4×400mR：優勝
			東海陸上競技選手権大会	男子4×400mR：優勝
	経営	三浦 央頌	愛知県陸上競技選手権リレー大会	男子4×400mR：優勝
			東海陸上競技選手権大会	男子4×400mR：優勝
	総合政策	安間 健登	愛知県陸上競技選手権リレー大会	男子4×400mR：優勝
			東海陸上競技選手権大会	男子4×400mR：優勝
	歯	伊東 雅哲	愛知県陸上競技選手権リレー大会	男子4×400mR：優勝
			東海陸上競技選手権大会	男子4×400mR：優勝
水泳部	健康科学	佐藤 貴幸	長野県選手権水泳競技大会	100m背泳ぎ：優勝、200m背泳ぎ：優勝
剣道部	経営	小島 雅登	西日本学生剣道大会	優秀選手賞

10月12日の創立記念式典で表彰を行ったクラブ団体及び個人
(対象期間:平成24年10月1日～平成25年9月30日)

個人の部

※学科欄の 色つき部分は法学部に在籍する学生を示します

クラブ名	学科	氏 名	大 会 名	成 績
卓球部	ビジネス	山成 玄将	東海学生卓球各部別大会	ダブルス：優勝
	健康科学	小木 智咲子	東海学生卓球各部別大会	ダブルス：優勝、シングルス：優勝
	健康科学	谷川 美沙紀	東海学生卓球各部別大会	ダブルス：優勝
詩武道部	法律	竹内 大祐	坪内杯全日本オープン空手道選手権大会	有級：優勝
射撃部	心理	堀口 愛月	中部学生ライフル射撃伏射大会	エアライフル伏射 60 発競技：優勝
	日本文化	村瀬 幸那	中部学生ライフル射撃新人戦・不朽戦	チームライフル立射 60 発競技：優勝
サイクリング部	総合政策	星野 将宏	スズカ8時間エンデューロ	4時間ロード：6 位
	総合政策	星野 貴大	スズカ8時間エンデューロ	4時間ロード：6 位
空手道部	日本文化	藤原 由梨	日本空手協会愛知県空手道選手権大会	一般女子形：優勝
	健康科学	二村 智代	日本空手協会愛知県空手道選手権大会	一般・高校女子組手：優勝
	日本文化	市川 美咲	日本空手協会東海地区空手道選手権大会	個人組手：優勝
バレーボール部（女子）	健康科学	青柳 京古	5学連女子選抜対抗戦	ブロック賞
			東海大学男女バレーボールリーグ戦春季大会	ベストスコアラー賞
居合道部	心理	高橋 秀徳	愛知県居合道段別選手権大会	初段：優勝
			香川居合道大会	初段男子：優勝
書道部	心理	山口 舞子	中日書道展	特選

団体の部

クラブ名	大会名	成 績
アイスホッケー部	愛知学生アイスホッケー競技会	優勝
ソフトテニス部	秋季東海学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦大会	男子：優勝
硬式野球部	東海・北陸・愛知三連盟王座決定戦兼明治神宮野球大会連盟代表決定戦	準優勝
	愛知大学野球新人戦	優勝
柔道部	熱田神宮奉納柔道大会	優勝
バレーボール部（男子）	愛知オープンバレーボール選手権大会	優勝
競技ダンス部	中部日本学生競技ダンス選手権ラン選手権	総合：優勝、チャチャ・サンバ・ルンバ・パソ：優勝
	中部日本学生競技ダンス選手権種目別戦	チャチャ・パソ・ワルツ・フォックス・クイック：優勝
ウエイトトレーニング部	中部学生パワーリフティング選手権大会	総合優勝
日本拳法部	中部日本学生拳法選手権大会	優勝
洋弓部	東海学生アーチェリー新人選手権大会	優勝
ラグビー部	東海学生セブンスラグビー大会	優勝
剣道部	東海学生優勝大会	男子：優勝
射撃部	中部学生ライフル射撃伏射大会	エアライフル伏射 60 発競技：優勝
空手道部	東海地区学生空手道選手権大会	男子組手：優勝
	日本空手協会東海地区空手道選手権大会	" 男子形・女子形：優勝、男子組手・女子組手：優勝 "

※その他、歯学部、薬学部の学生が歯科、薬学生を対象とした各種大会で優秀な成績を収めています。



クラブ・サークル紹介



ボクシング部

日々厳しい練習の中、『完全燃焼』をスローガンに活動しています。5月に開催された中部学生トーナメントでは個人優勝だけでなく、出場した全階級を制覇し団体優勝をも獲得する好成績を収めました。部長として感無量であり自信にもなりました。

最後になりましたが、日頃よりリングの改修や用具の購入等、大学のご支援に感謝しております。今後も部活動を通じて大学の発展に貢献できるよう努力していく所存です。

ボクシング部部长 法学部法律学科3年 鈴木 慎二



岐阜は、最南端の養老山脈 木曾三川に囲まれた輪中地帯（海拔0^米）の海津市出身で、昭和48年法学部を卒業しました宮本〈旧近藤〉なつ江と申します。

今は亡き父に連れられ入学式（楠元学舎）に出席。男子学生の多さに圧倒されました。女性は法学部1クラスに1～2名程度しかなく、全校で10名前後だったと思います。先輩方が部活の入部をアピールし勧誘をせまる中を、初めてハイヒールを履き、父の後を足下ごちなく恥ずかしそうに、靴の飾りが片方とれていても気がつかない程、緊張して歩いていたことが懐かしく思い出されます。通学できる範囲でと言う両親の厳しい条件付き（片道2時間）で合格したのが愛知学院大学でした。私立で両親には大変苦労をかけました。親になってありがたさを痛感しています。今更ながら感謝です。

卒業後「不動産鑑定業」の会社に入社。そして職場で現在の主人と出会い結婚。結婚当時は主人の給料が安く、大学の友人が（米の販売店）結婚祝いにお米5kgを持ってきてくれましたが、生活苦しく無理に頼んで10kgに。二人が忘れる事なく今も感謝。

現在は、名古屋から信州は上田に移り不動産鑑定の会社を開業し33年になります。信州では東に位置し日本最長を誇る千曲川が流れ、大自然に囲まれた文化と歴史の町です。戦国時代2度にわたって徳川軍を退け、天下にその名をとどろかせた戦国武将 真田一族 昌幸 幸村で有名な上田城があります。その後、高速道路が開通し新幹線が走り冬季オリンピックが開催され、仕事の依頼も増え今日に至っておりますが、人生山あり谷ありです。好きな言葉に『本気』、本気ですれば大抵の事はできる。本気ですれば何でも面白い。本気でしていると誰かが助けてくれる。と自分に問い言い聞かせています。



上田に移った頃、濃尾平野が良い、また窓を開ければ山がせまってくる。具合が悪くなってしまうなどと言って文句を言っていました。上田は子供達のふるさとです。上田は寒さ厳しく身に応えますが、お茶飲みしながらおつけものを頂く“おもてなし”が大好きです。煮物や野沢菜のおつけものなどが出されると暖かみを感じホッとしします。仕事に熱意をもって働ける幸福を感じながら進化しつづけていと思っています。信州の鎌倉別所温泉 菅平高原など見所いっぱい、おやきなどの美味しい食べ物もたくさんあります。美しい自然と人々の暖かいおもてなしと素朴さが心を癒してくれる。私は、そんな町「上田」が大好きです。

次回は加藤英明さんにバトンタッチします、よろしく！

宮本（旧姓近藤）なつ江（S48年卒）

キャンパス紹介

図書館情報センターにラーニング・コモンズ誕生！

平成25年10月、図書館情報センター本館1階に「ラーニング・コモンズ」が誕生しました。

本学が教育改革を推進する過程で実現した同施設は、既存の閲覧室の一部を改修し、図書館が従来から提供してきた「学びの場」に加え、「学びの交流」～学生どうしで、みんなで創るラーニング・コモンズ～をコンセプトに、従来の図書館では不可能であったグループや、ゼミ仲間どうしの意見交換や、ペットボトルなどの蓋付き飲料を飲むことも可能になり、借り出し用パソコンやプロジェクターを活用しての、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションなどの練習もできます。現在の利用時間は図書館に準じていますが、将来予想される開室時間延長に向けての設備も整っています。隣接するオープンテラスには、パンの自動販売機も設置され、食事もできます。初めのうちは利用方法に戸惑っていた学生も、今では積極的に活用しています。

同施設の利用は学部学生や、大学院生などに限定されますが、卒業生の方は一定の手続きが必要です。手続きをすればほとんどの館内施設利用、図書借り出しが可能です。日進キャンパスへお越しの際は、図書館情報センターに是非お立ち寄りください。



編集後記

「OB・OG会合」の開催報告が活発に寄せられる様になりました。次回も期待します。報恩感謝。（利）

愛知学院大学 法学部 同窓会 会報 Vol.72 2014.1.1

愛知学院大学法学部同窓会

〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池12
TEL: 0561-73-1111 (内線2303) FAX: 0561-74-1410 <http://www.agu-houdosokai.org/>